



令和6年度（前期）技能検定受検案内

（技能五輪京都府大会参加案内を含む。）

京都府職業能力開発協会

技能検定制度は、職業能力開発促進法に基づいて、その人のもっている技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度です。

この試験に合格されますと、特級、1級及び単一等級の方には厚生労働大臣名の、2級及び3級の方には京都府知事名の合格証書並びに技能士章が交付され、技能士の称号が与えられます。

1 技能検定実施日程

区 分	日 程	備 考
受 検 申 請 受 付	令和6年4月3日(水) ～令和6年4月16日(火)	受付時間（9：00～12：00）（注） 13：00～17：00 ※土・日及び祝日を除きます。 申請手続きは9ページです。
実技試験問題公表	令和6年5月30日(木)	職種により問題の全部又は一部が非公開になります。（9ページ）
実技試験実施期間	★令和6年6月6日(木) ～令和6年8月11日(日) 令和6年6月6日(木) ～令和6年9月8日(日) ☆令和6年10月1日(火) ～令和6年10月2日(水)	日・時は受検票で通知します。 受検票は実技試験問題公表とともに 当月中又は翌月中に送付します。 （翌月中に届かない場合は 当協会へお問い合わせ下さい）
実技試験統一実施日	令和6年8月18日(日) 令和6年8月25日(日) 令和6年9月1日(日)	統一実施職種は、別表（4～6ページ）のとおりで受検票で通知します。
学科試験統一実施日	★令和6年7月14日(日) 令和6年8月18日(日) 令和6年8月25日(日) 令和6年9月1日(日)	統一実施職種は、別表（4～6ページ）のとおりで受検票で通知します。
合 格 発 表	★令和6年8月30日(金) 令和6年10月4日(金) ☆令和6年11月28日(木)	合格者のみ、通知します。（9ページ）

★は、金属熱処理を除く3級職種です。

☆は、造園職種1級及び2級です。

（注）郵送は受付期間内の消印のあるものに限り受け付けます。

2 受検手数料減免対象条件の変更について

令和6年度は、実技試験手数料減免対象条件の一部が以下の内容に変更となりましたので受検申請の際は十分ご注意下さい。

(1) 対象等級

3 級受検者

(2) 対象年齢

23歳未満（当該年度の4月1日で23歳に達していない者）

(3) その他

**「雇用保険被保険者」と「雇用保険被保険者以外の者」
では減免額の相違により受検手数料が異なります
（「6 実技試験受検手数料」参照）**

3 受検申請時の提出資料

受検申請時は、申請内容に応じて以下の書類を提出願います。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 技能検定受検申請書（※必須）裏面に振込済の振込用紙（丁）を貼付。② 本人確認書類の写し（※必須）③ 実技試験又は学科試験の免除を受ける場合は、<u>その資格を証する書面の写し</u>④ 下記の資格で受検される場合は、<u>合格証明書又は免許証の写し</u><ul style="list-style-type: none">ア 特級を受検する方は、同一検定職種の1級技能検定合格証書イ 下位級合格の資格により受検する方は、同一検定職種の下位級技能検定合格証書（1、2級の受検者対象）ウ 職業訓練指導員資格取得者で1級又は単一等級を受検する方は、職業訓練指導員免許証⑤ 受検手数料減免対象の在職者は、<u>在職を証明する書類</u> |
|---|

4 本人確認書類

本人確認には、以下のいずれかの書類の写しを提出願います。

（受検者1人につきA4サイズで1枚）

- ① 運転免許証等、日本の官公庁が発行した身分証明書（氏名と生年月日が確認できるもの）
- ② 特別永住者証明書、在留カード
- ③ 健康保険被保険者証
- ④ 生徒手帳、学生証（氏名と生年月日が確認できるもの）
- ⑤ 外国政府が発行した旅券（写真欄と日本国査証欄）

5 受検手数料減免対象者及び証明書類

受検手数料減免対象者の条件は以下の通りです。

- ① 受検手数料減免対象者（以下の全ての要件を満たす方）
 - ア 技能検定3級の実技試験を受検する者。（随時級を除く）
 - イ 23歳未満の在職者もしくは在校生（4月1日時点で23歳未満の者）
 - ウ 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第一の在留資格をもって在留する者以外の者
- ② 減免対象の在職者が提出する証明書類

「事業所に雇用されている等して就業している者」を在職者とし、以下のいずれかの書類の提出が必要です。

 - ア 雇用保険被保険者証（健康保険被保険者証は不可）
 - イ 給与明細の写し
 - ウ 所属事業所が証明する書類（在職証明書 ※被保険者番号が有る場合は、必ず記入して下さい。）
 ※協会 HP 上に証明書フォーマットを掲載していますので、必要な方は利用下さい。

6 実技試験受検手数料

「京都府手数料徴収条例施行規則」改正案に基づく記載のため、内容に変更が生じる場合があります。
 3月下旬に公布予定ですので、受検申請の前に協会 HP（<http://www.kyo-noukai.com/>）を必ず御確認ください。

- ① 1級、2級及び単一等級は、一律 18,200円
- ② 3級

年齢区分？	作業名？	受検者区分？			
		社会人！		在校生！	
		◆	◇	◆	◇
23歳以上	機械検査作業	15,100円		10,100円	
	上記以外の作業	18,200円		12,100円	
23歳未満	機械検査作業	6,100円	10,600円	2,900円	5,600円
	上記以外の作業	9,200円	13,700円	3,100円	7,600円

◆…雇用保険被保険者

◇…雇用保険被保険者以外の者

7 学科試験受検手数料

・全等級、一律 3,100円

8 実施職種及び等級等

(1) 1・2級(30職種・51作業)

実 施 職 種		コード 番 号	実 技 試 験 実 施 日			学科試験 実 施 日	手 数 料	
検 定 職 種	選 択 作 業		製 作 等 作業試験	計画立案等 作業試験	判断等試験		実技試験	学科試験
園 芸 装 飾	室内園芸装飾作業	103010	受検票で 通知する	－	－	9. 1(日) (午前)	18, 200 ^円	全職種 ^円 3, 100
造 園	造 園 工 事 作 業	062010	受検票で 通知する	－	受検票で 通知する	8.18(日) (午前)		
金 属 熱 処 理	一般熱処理作業	005010	受検票で 通知する (1級のみに)	8.18(日) (午後)	8.25(日) (未定) (2級のみに)	8.18(日) (午前)		
	浸炭・浸炭窒化・ 窒化処理作業	005020						
	高周波・炎熱処 理 作 業	005030						
機 械 加 工	普通旋盤作業	006010	受検票で 通知する	－	－	8.25(日) (午前)		
	フライス盤作業	006040						
	平面研削盤作業	006120						
	円筒研削盤作業	006130						
	ホ ブ 盤 作 業	006150						
	数値制御旋盤作業	006200	受検票で 通知する	8.25(日) (午後)	受検票で 通知する			
	数 値 制 御 フライス盤作業	006210						
	マシニングセンタ作業	006230	－					
非 接 触 除 去 加 工	数値制御形彫り 放 電 加 工 作 業	183020	受検票で 通知する	9. 1(日) 1 級のみ (午後)	－	9. 1(日) (午前)		
	ワイヤ放電加工作業	183030						
	レーザー加工作業	183040		－				
金 属 プ レ ス 加 工	金属プレス作業	007010	受検票で通知 する (注6)	8.18(日) (午後)	－	8.18(日) (午前)		
建 築 板 金	内外装板金作業	122010	受検票で 通知する	－	－	9. 1(日) (午後)		
	ダクト板金作業	122020						
工 場 板 金	曲 げ 板 金 作 業	123010	受検票で通知 する (注5)	－	－	9. 1(日) (午後)		
め つ き	電気めつき作業	010010	受検票で 通知する	－	－	8.25(日) (午前)		
仕 上 げ	治工具仕上げ作業	012010	受検票で 通知する	－	－	9. 1(日) (午前)		
	金型仕上げ作業	012020						
	機械組立仕上げ作業	012030						
切 削 工 具 研 削	工作機械用切削 工 具 研 削 作 業	146010	受検票で通知 する (注6)	－	－	9. 1(日) (午後)		
ダ イ カ ス ト	コールドチャンバ ダイカスト作業	014020	受検票で通知 する (注7)	8.25(日) (午後)	－	8.25(日) (午前)		
電 子 機 器 組 立 て	電子機器組立て作業	015010	受検票で 通知する	－	－	8.25(日) (午後)		

実 施 職 種		コード 番 号	実 技 試 験 実 施 日			学科試験 実 施 日	手 数 料	
検 定 職 種	選 択 作 業		製 作 等 作業試験	計画立案等 作業試験	判断等試験		実技試験	学科試験
産 業 車 両 整 備	産業車両整備作業	166010	受検票で 通知する	—	—	8.18(日) (午後)	18,200 ^円	全職種 ^円 3,100
光 学 機 器 製 造	光学ガラス研磨作業	148010	受検票で 通知する	—	—	8.18(日) (午後)		
染 色	染色補正作業	023040	受検票で 通知する	—	—	8.18(日) (午前)		
家 具 製 作	家具手加工作業	124010	受検票で 通知する	—	—	8.25(日) (午後)		
建 具 製 作	木製建具手加工作業	125010	受検票で 通知する	—	—	8.25(日) (午後)		
印 刷	オフセット印刷作業	035020	受検票で 通知する	—	—	8.25(日) (午後)		
プラスチック成形	射出成形作業	037020	受検票で 通知する	—	—	8.18(日) (午後)		
	真空成形作業	037040	—	9. 1(日) (午前)	9. 1(日) (未定)			
石 材 施 工	石 張 り 作 業	150020	受検票で 通知する	—	—	9. 1(日) (午前)		
と び	と び 作 業	040010	受検票で 通知する	—	—	8.18(日) (午後)		
左 官	左 官 作 業	041010	受検票で 通知する	—	—	8.25(日) (午後)		
タ イ ル 張 り	タイル張り作業	044010	受検票で 通知する	—	—	9. 1(日) (午前)		
畳 製 作	畳 製 作 作 業	045010	受検票で 通知する	—	—	8.25(日) (午後)		
防 水 施 工	ウレタンゴム系塗膜 防 水 工 事 作 業	086020	受検票で 通知する	—	—	8.18(日) (午後)		
	アクリルゴム系塗膜 防 水 工 事 作 業	086030						
	シ ー リ ン グ 防 水 工 事 作 業	086070						
	改質アスファルトシート 常温粘着工法防水工事作業	086110						
	F R P 防水工事作業	086100						
内 装 仕 上 げ 施 工	プラスチック系床 仕 上 げ 工 事 作 業	152010	受検票で 通知する	—	—	8.25(日) (午前)		
	化粧フィルム 工 事 作 業	152070						
表 装	壁 装 作 業	059020	受検票で 通知する	—	—	9. 1(日) (午前)		
塗 装	建 築 塗 装 作 業	060020	受検票で 通知する	—	—	8.18(日) (午前)		
	金 属 塗 装 作 業	060030						
フ ラ ワ ー 装 飾	フラワー装飾作業	119010	受検票で 通知する	—	—	9. 1(日) (午後)		

(2) 単一等級 (1 職種・1 作業)

実 施 職 種		コード 番 号	実 技 試 験 実 施 日			学科試験 実 施 日	手 数 料	
検 定 職 種	選 択 作 業		製 作 等 作 業 試 験	計 画 立 案 等 作 業 試 験	判 断 等 試 験		実 技 試 験	学 科 試 験
産 業 洗 浄	高圧洗浄作業	159010	受検票で 通知する	8.18(日) (午後)	－	8.18(日) (午前)	18,200 ^円	3,100 ^円

(3) 3級(11職種・15作業)

実 施 職 種		コード 番 号	実 技 試 験 実 施 日			学科試験 実 施 日	手 数 料	
検 定 職 種	選 択 作 業		製 作 等 作業試験	計 画 立 案 等 作業試験	判 断 等 試 験		実 技 試 験	学 科 試 験
園 芸 装 飾	室内園芸装飾作業	103010	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午前)	円 ● 18,200 ● 12,100 □ 13,700 ■ 9,200 △ 7,600 ▲ 3,100	全職種 円 3,100
造 園	造 園 工 事 作 業	062010	受検票で 通知する	－	受検票で 通知する	7.14(日) (午後)		
金 属 熱 処 理	一般熱処理作業	005010	－	8.18(日) (午後)	8.25(日) (未定)	8.18(日) (午前)		
	浸炭・浸炭窒化・ 窒 化 処 理 作 業	005020						
	高周波・炎熱処理作業	005030						
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	006010	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午前)		
	フ ラ イ ス 盤 作 業	006040						
	数値制御旋盤作業	006200						
仕 上 げ	機械組立仕上げ作業	012030	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午後)		
機 械 検 査	機 械 検 査 作 業	013010	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午後)	円 ● 15,100 ● 10,100 □ 10,600 ■ 6,100 △ 5,600 ▲ 2,900	
電 子 機 器 組 立 て	電子機器組立て作業	015010	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午前)	円 ● 18,200 ● 12,100 □ 13,700 ■ 9,200 △ 7,600 ▲ 3,100	
建 築 大 工	大 工 工 事 作 業	038010	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午後)		
と び	と び 作 業	040010	受検票で通知 する (注6)	－	－	7.14(日) (午前)		
化 学 分 析	化 学 分 析 作 業	056010	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午前)		
フ ラ ワ ー 装 飾	フラワー装飾作業	119010	受検票で 通知する	－	－	7.14(日) (午後)		

●…23歳以上の在校生

□…23歳未満の社会人（雇用保険被保険者以外の者）

■…23歳未満の社会人（雇用保険被保険者）

△…23歳未満の在校生（雇用保険被保険者以外の者）

▲…23歳未満の在校生（雇用保険被保険者）

- (注) 1. 同一職種に作業が二つ以上ある場合は、受検する作業を選択して下さい。
2. 試験日が記載してあるものは、全国一斉に実施するものです。
3. 実技試験、学科試験とも実施日時、場所等は受検票で通知します。
4. 学科試験は、午前と午後とに分け、原則として京都市及び舞鶴市等で実施します。
5. 工場板金の実技試験の受検者は、ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証を試験当日必ず持参して下さい。持参しない場合は受検できません。
6. 金属プレス加工、切削工具研削、とび3級の実技試験の受検者は、実技試験当日に特別教育受講修了証等の写しを提示するか又は、自己申告書への署名が必要です。
7. コールドチャンバダイカスト1級の実技試験の受検者は、玉掛け作業については技能講習受講修了証等の資格証等の確認又は特別教育受講修了証等の確認若しくは自己申告書への署名、クレーン運転については特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名が必要です。
8. 令和6年度（前期）技能検定学科試験、実技試験（判断等試験及び計画立案等作業試験）における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和5年10月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における状況等を勘案し、一般的に普及しているものに基づく場合もあります。

9 受 検 資 格

技能検定の受検に必要な実務経験年数一覧

(単位：年)

受 検 対 象 者 (※1)		特 級	1 級		2 級		3 級 (※7)	単一 等級		
		1 級 合格後	2 級 合格後	3 級 合格後	3 級 合格後					
実務経験のみ		5	7	2	4	2	0	0 ※8	3	
専門高校卒業 ※2 専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業			6			0		0	1	
短大・高専・高校専攻科卒業 ※2 専門職大学前期課程修了 専修学校(大学編入資格付与課程に限る)卒業			5			0		0	0	
大学卒業(専門職大学前期課程修了者を除く)※2 専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業			4			0		0	0	
専修学校 ※3 又は各種学校卒業 (厚生労働大臣が指定したものに限り)	800h 以上		6			0		0 ※9	1	
	1600h 以上		5			0		0 ※9	1	
	3200h 以上		4			0		0 ※9	0	
短期課程の普通職業訓練修了 ※4 ※10	700h 以上		6			0		0 ※6	1	
普通課程の 普通職業訓練修了 ※4 ※10	2800h 未満		5			0		0	1	
	2800h 以上		4			0		0	0	
専門課程又は特定専門課程の高度職業 訓練修了 ※4 ※10			3	1	2	0		0	0	
応用課程又は特定応用課程の高度職業 訓練修了 ※10			1			0		0	0	
長期課程又は短期養成課程の指導員訓 練修了 ※10			1 ※5			0 ※5		0	0	
職業訓練指導員免許取得			1			－		－	－	0
長期養成課程の指導員訓練修了 ※10			0			0		0	0	0

※ 1. 検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限りします。

※ 2. 学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者並びに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準じます。

※ 3. 大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除きます。

※ 4. 職業訓練法の一部を改正する法律(昭和53年法律第40号)の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなします。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年法律第67号)の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開発訓練(いずれも800時間以上のものに限りします。)を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなします。

※ 5. 短期養成課程の指導員訓練のうち、実務経験者訓練技法習得コースの修了者については、訓練修了後に行われる能力審査(職業訓練指導員試験に合格した者と同等以上の能力を有すると職業能力開発総合大学校の長が認める審査)に合格しているものに限りします。

※ 6. 総訓練時間が700時間未満のものを含みます。

※ 7. 3級技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者も受検できます。また、3級の技能検定については工業高等学校に在学する者等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定試験受検に際して安全衛生上の問題等がないと判定されたものも受検できます。

※ 8. 検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとします。

※ 9. 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与します。

※ 10. 職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練又は指導員訓練に準ずる訓練の修了者においても、修了した職業訓練又は指導員訓練の訓練課程に応じ、受検資格を付与します。

(注) 1. 経験年数は受付期間の最終日(4月16日)現在で上記年数を超えていることが必要です。

(注) 2. 「1級・2級・3級合格後」等の計算は、合格証書等の交付日から起算します。

10 免 除 資 格

技能検定の免除一覧

(1) 技能検定関係（同一の検定職種に限ります。）

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備 考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
特 級	実技試験のみ合格	実技の全部					※ 1
	学科試験のみ合格	学科の全部					※ 1
1 級	技能検定合格		学科の全部				
	実技試験のみ合格		実技の全部				※ 2
	学科試験のみ合格		学科の全部				※ 2
2 級	技能検定合格			学科の全部			
	実技試験のみ合格			実技の全部			※ 2
	学科試験のみ合格			学科の全部			※ 2
3 級	技能検定合格				学科の全部		
	実技試験のみ合格				実技の全部		※ 2
	学科試験のみ合格				学科の全部		※ 2
単 一 等 級	技能検定合格					学科の全部	
	実技試験のみ合格					実技の全部	※ 2
	学科試験のみ合格					学科の全部	※ 2

※ 1：実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年によっては年度終わりまで）有効です。

※ 2：選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限ります。

(2) 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限ります。）

対 象 者			技能検定試験の免除の範囲					備 考	
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級		
指導員試験合格又は指導員免許取得				学科の全部			学科の全部		
応用課程又は特定応用課程の 高度職業訓練における技能照 査合格	技能照査合格後 実務経験年数	5 年		学科の全部			学科の全部	※ 1	
		2 年		学科の全部			学科の全部	※ 1	
					学科の全部			学科の全部	※ 1
専門課程又は特定専門課程の 高度職業訓練における技能照 査合格	技能照査合格後 実務経験年数	4 年		学科の全部			学科の全部	※ 1	
		1 年		学科の全部			学科の全部	※ 1	
					学科の全部				※ 1
普通課程の普通職業訓練にお ける技能照査合格	技能照査合格後 2 年（2800h 以上は 1 年）の実務経験			学科の全部			学科の全部	※ 1	
				学科の全部				※ 1	
短期課程の普通職業訓練につ いて修了時試験合格かつ修了	1 級技能士コース			学科の全部				※ 1	
	2 級技能士コース			学科の全部				※ 1	
	単一等級技能士コース						学科の全部	※ 1	
中央技能検定委員 2 年以上				実技の全部及び学科の全部				実技の全部 学科の全部	※ 3
都道府県技能検定委員 2 年以上				実技の全部				実技の全部	※ 3
技能五輪全国大会における技能証				実技の全部				実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証					実技の全部				※ 2
全国障害者技能競技大会	実技部門の技能証				実技の全部				※ 2
	学科部門の技能証				学科の全部				※ 2

※ 1：職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練に準ずる訓練における技能照査又は修了時試験の合格者においても、技能照査又は修了時試験に合格した職業訓練の訓練課程に応じて、試験を免除します。

※ 2：平成16年10月21日有効期限内である技能証は、その有効期限が過ぎたものであっても有効です。

※ 3：選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限ります。

(3) 他法令等関係

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備 考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した者			菓子製造職種に係る学科試験のうち 食品一般及び菓子一般				
建築士法による 1 級建築士試験若しくは 2 級建築士試験に合格した者又は 1 級建築士若しくは 2 級建築士の免許を受けた者			建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部			枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者			建築大工職種に係る学科試験の全部			枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定	1 級の技能検定		和裁職種に係る実技試験の全部				
	2 級の技能検定			和裁職種に係る実技試験の全部			

(注) 技能検定合格者は**合格証書**、技能照査合格者は**技能照査合格証書**（公共施設以外は知事の証明のあるものに限り）、短期課程の普通職業訓練修了者は**当該修了証書**（公共施設以外は知事の証明のあるものに限り）、等、免除資格を証する書面（写しで可）を必ず提出して下さい。

11 受検申請の手続き

(1) 受付期間及び提出先

令和6年4月3日（水）から4月16日（火）までの間に当協会に提出して下さい。なお、申請締切日近くになると混雑しますのでなるべく早く提出願います。

(2) 受検申請について

- ① 技能検定受検申請書用紙及び「受検案内」は、当協会や京都職業能力開発短期大学校（舞鶴市上安）等で配布します。なお、郵送を希望される場合は、封筒の表面に『**技能検定受検申請書用紙請求**』と**朱書し**、以下のとおり請求部数に応じた切手の他、送付先住所、氏名、電話番号、受検する作業名、等級、請求部数を記載した書類（メモでも可）を同封し、当協会へ御申し込み下さい。

請 求 部 数	1 部	2 部	3 部	4 部	5 部	6 部	7 部
同封する切手	140円	210円	250円	250円	390円	390円	390円

- ② 技能検定受検申請書を郵送するときは、**簡易書留郵便又はレターパックプラス等**とし、表面に『**技能検定受検申請書在中**』と**朱書して下さい**。郵便による技能検定受検申請は、受付期間内の消印のあるものに限り受け付けます。

- ③ 体が不自由等で受検にあたって特別な配慮をする必要がある方は、申請時に申し出て下さい。

(3) 受検手数料の払込みについて

- ① 実技試験及び学科試験の受検手数料（免除申請をする場合は不要）を、所定の当座振込用紙（当協会や京都職業能力開発短期大学校等で配布します）により、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の**窓口**から払込み（ATM・インターネット不可）、『当座口振込金受付証（丁）』を技能検定受検申請書の裏面の所定場所にはり付けて下さい。

- ② 技能検定受検申請書の受付後は、14の(1)の場合を除き、受検手数料はお返しできません。

12 実技・学科試験問題の公表

(1) 実 技 試 験

- ① 実技試験問題及び持参工具等は、**令和6年5月30日（木）**から公表します。ただし、職種によっては問題の概要のみ公表するものもあります。

- ② 実技試験問題（非公表問題を除く）の送付

受検者には組合、事業主を通じ、又は直接本人に公表後速やかに送付します。

(2) 学 科 試 験

- ① 学科試験問題は、試験終了後持ち帰ることができます。

13 合 格 発 表

(1) 期 日

令和6年10月4日（金）

・ただし、金属熱処理を除く3級職種は令和6年8月30日（金）、造園職種1級及び2級は令和6年11月28日（木）です。

(2) 合格通知

合格の発表は、受検番号を京都府ホームページ（URL <https://www.pref.kyoto.jp>）に掲載します。また、合格者には、京都府商工労働観光部人材育成課から通知します。

なお、実技又は学科のいずれか一方の合格者には、当協会からその旨を通知するとともに、京都府職業能力開発協会ホームページ（URL <http://www.kyo-noukai.com>）に受検番号を掲載します。また、片方合格通知書は今後の受検の際、免除を受けるための証拠書類となりますので大切に保管して下さい。再発行はできません。

(3) 学科試験及び計画立案等作業試験の正解

学科試験及び計画立案等作業試験の正解は、試験終了後、一定期間、中央職業能力開発協会ホームページ（URL <https://www.javada.or.jp>）に掲載されます。

14 そ の 他

- (1) 受付期間中又は受付後でも職種によっては試験場等の状況等で実技試験及び学科試験の受検をお断りすることがあります。この場合、納入された受検手数料はお返しします。

※職種により、実技試験に多数の受検申請がある場合、受検制限を行う可能性があります。

なお、その場合、京都府に居住もしくは勤務されている者を優先とします。

- (2) 受検申請書提出後、住所等を変更したときは、直ちに当協会へ連絡して下さい。
 (3) その他不明な点は、当協会技能検定課にお問い合わせ下さい。

コピーサービスのご案内

過去の試験問題のコピーを1部500円（税込）で販売しております。
 購入を希望される方は、事前にご連絡の上、当協会へお越し下さい。

- ・窓口でのみ販売しています。郵送はできません。
- ・学科試験、計画立案等作業試験は解答つきです。
- ・お支払いの際は、おつりのないようにご協力をお願いします。

なお、中央職業能力開発協会が運営している技能検定試験問題公開サイト
[\(https://www.kentei.javada.or.jp/\)](https://www.kentei.javada.or.jp/)にて試験問題の閲覧（印刷不可）が可能です。

技能検定学科試験問題解説集等の斡旋

公表された学科試験出題問題に正誤を付けて解説した「学科試験問題解説集」と、学科試験問題及び実技試験問題を掲載した「1・2級技能検定試験問題集」が、一般社団法人雇用問題研究会等から発行されております。ご希望の方は当協会へお申し込み下さい。

〔1・2級学科試験問題解説集〕

集 別	定 価	収 録 職 種	改訂 発行年	集 別	定 価	収 録 職 種	改訂 発行年
第 4 集	2,420 ^円	金属熱処理	H 5	第912集	3,300 ^円	機械加工	H 14
第 11 集	2,200	建築図面製作・テクニカル イラストレーション	S 62	第913集	2,200	造園	H 16
第 18 集	1,650	建設機械整備	S 63	第914集	2,200	金属プレス加工	H 19
第902集	3,300	配管	H 10	第915集	2,860	金属材料試験	H 17
第903集	3,300	塗装	H 19	第916集	3,300	鉄工	H 19
第904集	1,650	型枠施工	H 14	第917集	2,860	建築板金	H 19
第905集	2,200	鉄筋施工	H 14	第919集	3,300	めっき・ダイカスト	H 20
第908集	2,750	冷凍空気調和機器施工 熱絶縁施工	H 17	第921集	1,980	電子機器組立て	H 16
第909集	2,750	仕上げ	H 14	第922集	3,300	電気機器組立て	H 16
第910集	2,420	機械・プラント製図	H 17	第924集	1,760	油圧装置調整	H 17
第911集	2,200	機械検査	H 14	第931集	2,750	左官・タイル張り	H 15

集 別	定 価	収 録 職 種	改訂 発行年	集 別	定 価	収 録 職 種	改訂 発行年
第932集	2,860 ^円	建築大工・畳製作	H21	第936集	2,970 ^円	サッシ施工・ガラス施工	H20
第933集	3,080	防水施工（前期学科分） FRP 防水を除く	H18	第937集	3,080	プラスチック成形	H23
第935集	2,750	とび・かわらぶき	H20				

〔 1 ・ 2 級技能検定試験問題集 〕

集 別	定 価	収 録 職 種	改訂 発行年	集 別	定 価	収 録 職 種	改訂 発行年
第321集	2,200 ^円	問題集21「機械保全」 (平成22～24年度)	H25	第373集	2,750 ^円	問題集73「防水施工」 (平成30～令和2年度)	R 3
第341集	1,650	問題集41「左官」 (平成26～28年度)	H29	第374集	2,530	問題集74「塗装」 (平成30～令和2年度)	R 3
第343集	3,080	問題集43「金属熱処理」 (平成26～28年度)	H29	第375集	2,310	問題集75「電気機器組立て」 (平成30～令和2年度)	R 3
第345集	3,520	問題集45「機械加工」 (平成26～28年度)	H29	第376集	1,980	問題集76「半導体製品製造」 (平成30～令和2年度)	R 3
第350集	1,760	問題集50「かわらぶき」 (平成26～28年度)	H29	第377集	1,870	問題集77「型枠施工」 (平成30～令和2年度)	R 3
第355集	2,200	問題集55「鉄工」 (平成27～29年度)	H30	第378集	1,870	問題集78「鉄筋施工」 (平成30～令和2年度)	R 3
第360集	1,980	問題集60「機械・プラント製図」 (平成27～29年度)	H30	第379集	2,090	問題集79「機械検査」 (平成30～令和2年度)	R 3
第362集	2,090	問題集62「プラスチック成形」 (平成29～31年度)	R 2	第380集	2,310	問題集80「機械・プラント製図」 (平成30～令和2年度)	R 3
第363集	1,650	問題集63「造園」 (平成29～31年度)	R 2	第381集	1,980	問題集81「金属プレス加工」 (平成30・31・令和3年度)	R 4
第364集	1,650	問題集64「とび」 (平成29～31年度)	R 2	第382集	1,870	問題集82「配管」 (令和元～3年度)	R 4
第365集	3,190	問題集65「金属熱処理」 (平成29～31年度)	R 2	第383集	2,200	問題集83「建築板金」 (令和2～4年度)	R 5
第366集	2,420	問題集66「仕上げ」 (平成29～31年度)	R 2	第384集	1,760	問題集84「左官」 (令和2～4年度)	R 5
第367集	3,740	問題集67「機械加工」 (平成29～31年度)	R 2	第385集	2,420	問題集85「熱絶縁施工/冷凍空気調和機器施工」 (令和2～4年度)	R 5
第369集	1,760	問題集69「建築大工」 (平成29～令和元年度)	R 2	第386集	1,870	問題集86「建築大工」 (令和2～4年度)	R 5
第370集	2,090	問題集70「油圧装置調整」 (平成29～令和元年度)	R 2	第387集	2,200	問題集87「油圧装置調整」 (令和2～4年度)	R 5
第371集	1,980	問題集71「空気圧装置組立て」 (平成29～令和元年度)	R 2	第388集	2,090	問題集88「空気圧装置組立て」 (令和2～4年度)	R 5
第372集	1,870	問題集72「建設機械整備」 (平成30・31年度)	R 3				

- (注) 1. 定価は消費税込の金額です。送料は実費を申し受けます。
2. 3級用の解説集は、現在発行されていません。

その他、中央職業能力開発協会から、「特級」「3級」技能検定試験問題集が発行されています。

ご希望の方は、当協会又は中央職業能力開発協会 図書センターへお申し込み下さい。

中央職業能力開発協会 図書センター (TEL 03-3603-8373 <https://www.javada.or.jp> → 「図書の購入」)

令和6年度技能五輪京都府大会

青年技能者の技能水準と、その社会的地位の向上に資するため毎年技能五輪全国大会が開催されます。この地方予選として京都府大会を技能検定の実技試験とあわせて実施し、成績優秀者を全国大会に推薦します。実施職種等は次のとおりです。

技能五輪競技職種	地方大会競技職種	参加手数料	コード番号
機械組立て	仕上げ（機械組立仕上げ作業）	18,200 ^円	012030
旋盤	機械加工（普通旋盤作業）	18,200	006010
フライス盤	機械加工（フライス盤作業）	18,200	006040
タイル張り	タイル張り（タイル張り作業）	18,200	044010
曲げ板金	工場板金（曲げ板金作業）	18,200	123010
電子機器組立て	電子機器組立て（電子機器組立て作業）	18,200	015010
左官	左官（左官作業）	18,200	041010
家具	家具製作（家具手加工作業）	18,200	124010
建具	建具製作（木製建具手加工作業）	18,200	125010
フラワー装飾	フラワー装飾（フラワー装飾作業）	18,200	119010

☆競技実施時期

厚生労働大臣より告示された令和6年度前期技能検定実技試験の実施期間内に実施するものとする。

☆参加の申込等

- 技能検定2級と併願することができます。
（その場合、技能検定手数料のみで、参加手数料は不要です）
- 参加申込等については、技能検定受検申請手続きに準じて申し込んで下さい。
- 受検申請書の「等級区分」欄は、「国競」又は「国競併願」と記入して下さい。
- 参加資格は、平成13年1月1日以降に生まれた者です。
- この大会に参加して一定基準以上の成績を収めた者には「技能証」が与えられ、対応する技能検定職種（作業）2級の実技試験が免除されます。
（技能検定2級と併願して申請した場合は、技能検定合格発表に準じます）
- 設備等の都合でお断りすることがありますので、申込みされる場合は事前にご連絡下さい。

書請申檢受定檢能技

※印以外の欄には必要事項を
もれなく記入すること。
記入には、すべてインキ又は
ボールペンを用いて、文字は
かき書で、数字は算用数字を
用いて、ていねいに書くこと。
(フリクションは使用不可)

郵便物が確実に届くよう、
番地、○号室、○○様方等
まで正確に記入すること

受検する職種との関連が
よくわかるように書くこと

所屬事業所又は組合等が受
検申請書をまとめて提出す
る場合に限る記入すること

技能検定を受けたいので申請します。

京都府知事様

令和6年4月3日

京都 太郎

京都 太郎

検定職種	機械加工		等級区分	2	受検番号	※	
選択科目 (ふりがな)氏名	(特級記入不要) 普通旋盤		作業		602-8570		
	きよと 京都太郎			(ふりがな)住所	きょうとかしきぎょう(しもだちうりばおり) 京都市上京区下立売通 やぶのうちよう 敷内町49の1 アーバン201		
	生年月日 年令及び性別	☒ 12年4月3日 (男)・女 (満24年6月) ☐ 受検料の減免措置 (対象者：当該年度の4月1日時点で23歳未満の3級受検者)		連絡先 (必ずつながる事) (075) 239 - 3232 番	同居先 方		
受験資格	最終学歴	学校名	学科又は課程	所在地	在学期間	区別に○印	
		〇〇工業高校	機械科	京都市伏見区池田2	28年4月～31年3月 (3年)	卒業・在学	
	訓練	訓練施設名	訓練科	所在地	訓練を受けた期間	卒業・在学	
	〇〇訓練校	機械科	福知山市平野1	31年4月～32年3月 (1年)	卒業・在学		
					31年4月～32年3月 (1年)	卒業・在学	
試験免除	職業	事業所名	地位職名	所在地	在職期間	職務内容	
		(株)〇〇機械		宇治市宮代町2-1	R3年4月～6年4月 (3年)	旋盤による加工作業	
		〇〇製作所(株)		京都市下京区山上4	R2年4月～3年3月 (1年)	フライス盤による加工作業	
					年～年 (年)		
					年～年 (年)		
試験の免除	特級受検の方は1級 1級受検の方は2・3級 2級受検の方は3級		合格した検定職種 3級普通旋盤作業	合格した年月日及び合格番号 H30.8.31 18-3-006-26-0027	受検資格	※	
	試験の免除を受ける資格に関係ある試験、検定、免許等	実技試験	全部・一部	試験、検定、免許等の名称	年 月 日 及び 番号	免除	※
		全部・一部	技能検定学科2級 普通旋盤作業	R3年10月1日 第0014号	判定	※	
申請区分	実技試験	受験	とりまとめ	事業所又は組合等			
	学科試験	受験	(免除)				

☐ 個人情報、能力開発協会（各種講習会等）の案内目的に利用されない。

記入例

受検料の減免対象者は、
四角枠内にチェックを入力
すること

学校教育法による最終学歴
(大学院は除く)を記入す
ること

職業能力開発促進法による
訓練歴を記入すること

現在の事業所から順次古い
ものへ記入すること

試験の免除等を受ける場合は、必ず合格証書の写を添付すること

※印以外の欄には必要事項を
もれなく記入すること。
記入には、すべてインキ又は
ボールペンをを用いて、文字は
かい書で、数字は算用数字を
用いて、ていねいに書くこと。
(フリクションは使用不可)

(注意) ATM・インター
ネットからは振込
できません。

(申請書の裏面に貼付する)

当座口振込金受付証(丁)

令和	年	月	日
金 額	万	千	百 拾 円
振 込 先 行 銀	¥	1 8	2 0 0
お受取人	京都銀行本店公務・地域連携部		
お振込人 (受検者名)	例)〇〇機械 (京都 太郎) 様		

[摘要] ただし、技能検定受検手数料(参加料)

受検の別	実 技 ・ 学 科
級 別	特級・1級・2級・3級・単一・五輪
作 業 名	普 通 旋 盤

注 受検の別、級別の欄は、該当を
○で囲んでください。

を振込
入の人が
この会社
の場合、
()内に
受検者名

実技のほか、学科を受検する場合は、さらに
学科の受検料分を加算すること。

(取扱店名) (取扱店→振込人)

※印の欄は記入しないこと。

名字と名前の間は1文字あけること。

氏 名 キ ョ ウ ト タ ロ ウ 京 都 太 郎

府内の方は市・郡から、府外の方は都道府県名から記入。

所 京 都 市 上 京 区 下 立 売 通 藪 ノ 内 町 4 9 の 1

ア ー バ ン 2 0 1

性別 ① F (男) ② F (女)

郵便番号 6 0 2 - 8 5 7 0

元号 S ⑤ 1 2 年 0 4 月 0 3 日 生

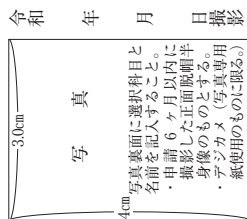
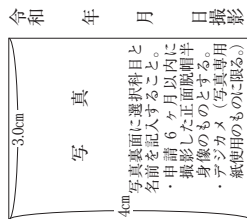
在職期間 (月は切捨て) 0 4 年

受検票等一括
送付先コード

受検資格対
象者の分類

※ 減免対象者

検定職種	機械加工
選択科目	普通旋盤
コード 番号	006010
等級区分	2 級
受検番号	※
試験場	※
(ふりがな) 氏 名	きょうと 京都 太郎
住 所	京都市上京区下立売通藪ノ内町49の1 アーバン201 連絡先 (必ずつながる事) (075) 239 - 3232 番
勤務先 もしくは 在学先の 名称及び 住 所	例)〇〇機械 宇治市宮代町2-1 電話 (0774) 25 - 2121 番
出欠欄	実 技 出 欠 学 科 出 欠



(右 票)



■市営地下鉄烏丸線「くいな橋駅」下車 1 番出口正面

■近鉄京都線「上烏羽口駅」下車 東へ徒歩 7 分

京 都 府 職 業 能 力 開 発 協 会

〒612-8416

京都市伏見区竹田流池町121-3

(京都府立京都高等技術専門校内(2階))

電 話 075 (642) 5075番 (内線 2 番)

F A X 075 (642) 5085番

ホームページ <http://www.kyo-noukai.com>

(お問合せは、8時30分～17時00分までで土・日及び祝日を除きます。)